



国際交流バスツアー 2025.11.23 神戸森林公園

にっぽん大好き国際交流 吉野川市国際交流協会

"I Love Japan" International Exchange



10年前75万5千人だった徳島県の人口は減少し続け、2025年には67万7千人になりました。一方、在住外国人の人数は約5.5千人から約9.2千人に増加しました。国内で暮らす外国人は年々増加しており、総人口の約3%を占めています。総務省は2006年に「地域における多文化共生推進プラン」を策定し、地方自治体における多文化共生の取り組みを推進してきました。プランでは多文化共生を「国籍や文化の異なる人々が、お互いの違いを認め合い、対等な関係を築こうとしながら、地域社会の構成員としてともに生きていくこと」と定義しています。少子高齢化、人口減少が続く日本において、外国人を受け入れて共生していくことが地域社会に求められています。そのためには、円滑に意思疎通を図るための日本語学習の支援が必要です。

徳島県は2025年12月に「徳島県日本語教育の推進に関する基本方針」を策定しました。すべての在住外国人が地域社会の一員として安心・安全に暮らし、労働や教育の現場で活躍できる「多文化共生社会」の実現をめざしています。吉野川市国際交流協会は長年に渡って在住外国人の日本

語指導を行い、その一翼を担ってきました。毎週日曜日に午前中は山川公民館で、午後は吉野川市文化研修センターで日本語の指導を行っています。ベトナム、インドネシア、中国、ネパールなど多国籍でレベルも様々ですが、複数の指導者が対応しています。世界を身近に感じることができる交流の場になっています。その他、日本文化を体験できる、浴衣・着物着付け体験、俳句・書道ワークショップ、もちつき大会なども行っていますので、お気軽にお立ち寄りください。

2024年から始めた「お遍路語学ガイド講座」は毎月2回、鴨島公民館で開催しています。2025年には11番札所藤井寺で外国人お遍路のお接待をしました。スイス、ベルギー、オーストラリア、アメリカなど世界各国の方が遍路を訪れていました。外国文化を学ぶ取り組みとしてグローバルセミナーも行っています。世界を旅することができる楽しい講座です。

2026年も市民の皆様のご支援とご協力をいただきながら、活動してまいりたいと思います。よろしくお祈りします。

吉野川市の外国人登録数 (2026年1月31日現在) : ベトナム162人、中国143人、インドネシア128人、ミャンマー65人、フィリピン47人、カンボジア23人、パキスタン14人、スリランカ13人、米国11人、韓国6人、タイ6人、英国5人、カナダ4人、ネパール3人、ハンガリー3人、台湾3人、インド2人、ルーマニア2人、ロシア2人、ブラジル、ドイツ、ニュージーランド、国籍未記入各1人 23か国 合計646人

《特集》 地域でベトナムの人たちとの交流を楽しむ

萩森 健治
Hagimori Kenji

《Special Topic》 Happy Time with Vietnamese People

徳島県内の在住外国人は約9,200人、吉野川市内の外国人は646人です。県、市ともベトナム人がもっとも多くいずれも全体の1/4を占めています。ベトナムの人たちは、介護、農業、縫製業、建設業、食品会社、飲食店などで技能実習生、特定技能、技人国などの資格で働いていて地域経済の重要な担い手となっています。

YIAは外国人に対する支援や交流活動として「多文化共生」を草の根的に進めていますが、その一環として2025年度は以下のイベントを通じて、多くのベトナムの人たちとの交流を体現しました。

ベトナム統一50周年記念イベント

4月27日、ベトナム統一50周年を記念して四国大学交流プラザでベトナム交流会が開催されました。主催は徳島県ベトナム人協会で、この会にはベトナムの留学生や実習生、そしてその人たちに関わる大学や企業、各国際交流協会の人たちが100人以上参加しました。YIAはゲストとして招待され、瀬尾会長はじめ理事8名が日本語教室のベトナム人受講生9名と一緒に参加しました。

初めにベトナム統一に至るまでの苦難の道のりが（ベトナム戦争を含め）ビデオで紹介され、ベトナムの国歌を斉唱しました。四国大学准教授元木先生のあいさつの後、8名の人たちによるスピーチコンテストが行われ、日本での生活の中で若者らしい悩み、実習生の苦悩や葛藤そして、希望、日本人との交流、絆等が語られました。鴨島教室で学習していたグエン・ホン・ホックさんは「日本語を学び続けて介護の仕事に転職したこと、更にこの学びを続けていきたい」と発表し3位に輝きました。そして文化芸術公演では、山川教室の8名がベトナムダンスを披露しました。仕事を終えた夕方に練習を重ねた見事な踊りで拍手喝采を浴びました。その後は歌、空手と続き、最後はYIAが企画した「ムアサップ」を会場一体となって楽しみました。ムアサップは、4拍子の軽快なリズムに合わせて竹の間を軽やかにジャンプしながら踊る楽しいパ



フォーマンスです。最後にはミニゲーム、各ゲストへの感謝の意を表すプレゼントがありました。ベトナムの人たちが、異国の地で祖国への誇りを持ち、日本語の壁や仕事上の苦勞をみんなですべて乗り越えようとして頑張っている姿を見て、思わず涙腺がゆるんでしまいました。



映画「道草キッチン」PRイベント 道草マルシェ

映画「道草キッチン」をPRするためのイベント「道草マルシェ」が11月16日に鴨島駅前周辺で開催されました。会場には、映画の白羽監督、原井市長や市役所職員、ベトナム、インドネシア、中国、タイなどの在住外国人、TOPIA、四国大学関係、市民や子どもなど数100人が参加。ベトナム料理の屋台、映画のPRブース、子どもの遊びコーナーなどが設けられ、ランタンが点灯された広場では、参加した多くの市民と子どもたちやベトナムの人たちが料理や交流を楽しみました。

YIAは竹遊び「ムアサップ」と「揚春巻き」の出店を担当しました。実行委員会から多くのベトナム人の参加が要請されたため、徳島県ベトナム人協会会長のヴィーさんに依頼したところ、30人以上のベトナム人仲間を集めて協力してくれました。夕暮れのころから若いベトナム人男女が続々と集まり始め、地元の子どもたちや大人も一緒に何回もムアサップに挑戦。また、ベトナムの歌や踊りも一緒になって楽しみました。揚春巻きの店は三木ハンさん達3人が担当しましたが、美味しくて安く19時ころには完売。皆さんは、バイミー、フォー、揚春巻き等のベトナム料理やムアサップを楽しみながら、映画のPRと国際交流に大いに貢献できたと思います。



日本語教室・2025年度の活動報告 Activities of Japanese Classes in 2025

鴨島教室：萩森 健治
Hagimori Kenji

日本語教室は、鴨島教室と山川教室の2か所で毎週日曜日に開催しています。来校する学習者の多くは、市内や近隣地域で技能実習、特定技能などで働く外国人で、登録者総数は45人です。ボランティア講師は両教室合わせて14人です。



山川教室：平田 仁子
Hirata Kimiko

鴨島教室：学習者は、インドネシア、ベトナム、中国、パキスタン、タイ、ネパール、ハンガリー、イギリスの8か国で30人です。ベトナム人が減り、インドネシア、中国の学習者が多く来校するようになりました。ボランティア講師は8人で、毎回2～5人が出席して来校した学習者の日本語レベルや学習目的に応じてグループに分けて指導しています。また日本語能力試験の受験対策なども行っています。



今年度は、「徳島県日本語教育の推進に関する基本方針」作成のため、8月31日に県多

文化共生人権課の課長、係長が視察されました。また、県立川島高校の生徒6名の見学会(9/28)、四国大学オープンカレッジにZoomによるオンライン参加(10/19)、四国大学の元木先生と留学生5名との交流会(11/16)も開催しました。

山川教室：山川教室は毎週日曜日の10時から11時半まで山川公民館で開催しています。最近は小学生、中学生、技能実習生など毎回5～8人が出席していて、出身国は中国、ベトナム、インドネシアがほとんどです。昨年、小学生、中学生が増えてきて、日本語の基礎になる表現や生活習慣、季節の行事などを一緒に学習しています。また時には書道、着付け、もちつきなどの日本文化を体験する活動も行っています。日本の学校や生活に馴染むことは大変で、苦労も多いと思いますが、一日でも早く日本での生活に慣れようと一生懸命努力する姿に心を打たれます。



ボランティア講師は毎回5～8人ですが、ベテランの講師の方も多く、それぞれのレベルに合った内容で丁寧に指導されています。これからは益々日本で働く外国人が増えそうですが、地域の人達ともふれあい、少しでも楽しい日本の生活を送ることができるようにしっかり支援していきたいと思っています。



俳句・書道ワークショップ

Haiku & Calligraphy Workshops

川村 雅子
Kawamura Masako

6月21日、午前の日本語教室を終えたその足で、学習者のみんなとワークショップに参加しました。ビックリしたことに、なんと約50人もの参加者が集まりました。今回は、山川・鴨島・阿波の3つの日本語教室から生徒さんたちが参加されたとのこと。

はじめに俳人の上窪先生から俳句の作り方の説明を受け、それから二つの教室に分かれて実際に俳句を作り、書道講師の吉野先生の指導を受けながら色紙に筆で俳句を書き入れ、作品を仕上げました。

はじめの説明は一つの教室で行ったため、大盛況で大混雑といった状況でしたが、それぞれの教室に分かれてからは、外国人の参加者に日本人がアドバイスをする形でスムーズに進みました。外国人参加者はそれぞれ、考え込んだり、携帯で漢字を調べたり、指を折っ

て文字数を確認したりしながら、のびのびとした俳句を作っていました。そして何度も半紙で練習をしてから、緊張の面持ちで本番の色紙に取り掛かりました。漢字を間違えたり、スペースが狭くなったりしたのもご愛敬。個性的な作品ができあがり、最後にみんなの句を先生が読み上げて、お互いの句を鑑賞しました。



地域国際交流 Regional International Exchange Activities

◆藤井寺でのOsettai

"Osettai" at Fujiidera Temple

遍路英語ガイドグループ 田村 実
Tamura Minoru

遍路英語グループは、2025年2年となり、近くにある11番札所藤井寺でお接待を実施しました。

住職さんと相談し、机と椅子は軽トラで持ち込み、お接待品は、鳴門金時、みかん、柿、スダチ、銀杏、水、和菓子、ハイチュウ等を用意。実施日は、周辺のお遍路宿泊施設の外国人予約状況を確認し、9/25、10/15、11/3を選択。

1. 気さくな外国人は、声をかけると、ほとんどの方が寄ってきて、お接待を楽しみながら色々と会話が弾む。初回は約20人、8カ国（UK, Belgium, Netherland, France, Switzerland, Australia, NZ, USA）、2回目は約40人、3回目は25人程。20余りの国々から徳島に。
日本人のお遍路さんの数は日により異なるが、お

接待日は、外国人の5倍余りの人数で、お参りを終えてから寄る方が多かった。

2. ロスからのお遍路さんから、お礼にDodgersのシーลセットを頂いたりもしたが、お接待を通して地元の人々との会話交流は、彼らにとっても良い旅の1ページになっているなど感じた。我々にとっても、楽しく良い刺激になることがたくさんあったと思う。
3. 有志で高知の青龍寺等、徳島の焼山寺等、香川の大窪寺等のツアーを実施し、学びを深めることができたと思う。

2026年の1月からは、「発心」の徳島を終え、「修行」となる高知、「菩提」の愛媛の遍路寺へと進めて行く。興味のある方は、ご一緒に参加しませんか？



◆そば打ち体験

Soba Noodle Making Experience

南部 博之
Nambu Hiroyuki

8月3日（日）13時～15時に国際交流クッキング「そば打ち体験交流会」を川島公民館で開催しました。定員20人を超える29人（講師1人、外国人10人、YIA 9人、一般9人）が参加しました。講師に「阿波恵の会」の田村精二さんを迎え、日本語教室の外国人や地域の人たち、YIAの会員と一緒にそば打ち体験をし、美味しい信州そばを食べることができました。5班に分かれ、「失敗しない二八そばの打ち方」というマニュアルを参考に、講師の田村さんが、①準備、②水回し、③練り、

④地延し、⑤本延し、⑥たたみ、⑦切り、⑧ゆで、⑨洗い、⑩盛り付けの各工程を丁寧に説明し、そば打ち体験をしました。「阿波恵の会」の杉原さんも指導してくれました。そば粉8割、小麦粉2割、水を混ぜ、しっかりこねていくと生地ができあがり、包丁で切るとそばができました。そばをゆがくコツも教えてくれました。班ごとにそばを盛り付け、和室でいただきました。田村さんから信州そばの説明もありました。一緒に作りながら外国人との交流もでき、有意義な時間を過ごすことができました。



◆もちつき大会

Rice cake pounding Party

岡田 晋
Okada Susumu

恒例の西麻植青年会館とYIA合同のもちつき大会が1月18日（日）に行われました。今年は例年になく暖かい日となり、晴天にも恵まれ、今までで最高の約100人の参加があり、西麻植青年会館の方たちと、西麻植小学校の児童や保護者50人が一緒に「もちつき大会」を行いました。国際交流協会が参加するのは今回が8回目で、1月の定例行事として定着しています。YIA会員、日本語教室に参加しているベトナム、インドネシア、中国出身の方々、TOPIAの長田さんと岩谷さん、徳島市内の行政書士事務所の杉尾さんなど50人が

参加。初めてもちつきに挑戦する人も多く、「1. 2. 3」と大きな掛け声にあわせて力いっぱいおもちをつきました。室内では、もちを丸めることにも挑戦し、皆さん楽しくおもちを丸めていました。広間では、福笑いのゲームや吉野川市のカルタで遊び、西麻植青年会館の方たちとも一緒に楽しく交流をしました。初めてもちつきに挑戦した受講生らは楽しそうでした。そして、つきたてのおもちが入ったぜんざいをみんなで美味しくいただき、おもちをお土産にもらって帰りました。参加された皆様、ありがとうございました。



国際交流バスツアー Bus Tour of International Exchange

◆楽しかったバスツアー

Enjoyable Bus Tour Memories

クアン・ティ・ザイン

Quang Thi Danh

吉野川市国際交流協会が毎年11月に行っている交流バスツアー。徳島で生活している外国人のみんながつながれるとても良い機会になっています。

私にとって、普段会えない人たちと交流できる特別で大切な時間でした。

ツアーには、日本・ベトナム・タイ・インドネシア・ネパール・中国の6カ国から45名が参加しました。技能実習生や介護の仕事をしている方たちも、日頃の疲れを少し忘れて、のんびり休んだり、おしゃべりしたり、新しい友達ができたりと、笑顔が止まらない一日になりました。初めて会った人ともすぐに仲良くなれて、「また会おうね!」と言える仲間が増えました。

目的地は、神戸市立森林植物園とハーバーランド。紅葉がとても美しく、自然の中で深呼吸すると「気持ちいい〜!」と声が出るほどリフレッシュできました。港町・神戸の景色も最高で、写真を撮っていたら時間があっという間に過ぎてしまいました。

バスの中では、萩森健治先生が「この先は〇〇ですよ」「皆さん、もうすぐ着きますよ〜」と明るく案内してくれたので、まるで楽しいガイドさんと一緒に旅している気分でした。先生の優しい気遣いのおかげで、安心して参加できました。

一緒に参加していた日本人の方々もとても親しみやすく、写真を撮ってくれたり話しかけてくれたりして、すぐに打ち解けました。国籍は違っても笑顔があれば友達になれると感じました。

今回の交流を通して、徳島で生活する外国人同士がもっと近くなり、支え合えるつながりが広がったと思います。これからも仲良く交流を続けていきたいです。この経験は私にとって忘れられない思い出です。また、来年のツアーも今から楽しみにしています。

最後に、このツアーを計画・運営してくださった吉野川市国際交流協会の皆さまに感謝いたします。本当にありがとうございました。



「一夜限りの鴨島阿波踊り大会」に初参加

First-time Participation in Kamojima Awa Odori Festival

黒瀬 久美

Kurose Kumi

2025年5月に吉野川人材育成支援協同組合に着任しました「地域おこし協力隊」の黒瀬です。8月16日に開催された鴨島の阿波おどりに同期の伊藤和子さんと一緒に初めて参加しました。

吉野川市国際交流協会は、吉野川市の市役所連と共同で阿波おどりに参加しています。今年は市制20周年記念として制作された映画「道草キッチン」に出演している俳優の金井浩人さんが市役所連に加わっていました（写真を撮れなかったのが悔やまれます）。

今年の参加者の顔ぶれは、技能実習生や特定技能生を中心としたインドネシア、ベトナム、カンボジア、ミャンマーの方々と、ボランティアで国際交流協会と関わりのある日本人合わせて53名です。本会場となる駅前中央通りに近づくと、有名連の踊りを見て、「あ、ワンピースだ!」と、嬉しそうにしていると、本場の連のカッコいい、揃った踊りに皆釘付けになりました。前日まで練習はなく、当日集合して貸し出されたハッピー、ハチマキ、足袋姿に着替えたのち、20分ほど練習しただけですが、若い元気なメンバーが揃っているので、「ヤットサー、ヤットサー」「ヤットヤット」と覚えての掛け声を出しながら楽しそうに踊ったり、自

撮り写真を撮るたくさん撮ったりしていました。

私達の連は17:30スタートして15分ほど踊り、中休みをはさんで18:30に2回目を踊りました。中休みの際には、YIAから飲み物など水分補給の差し入れをしていただき、元気を回復することができました。

2回目開始前の待ち時間には、有名連の方々と一緒に写真を撮ったりして、実習生メンバーが始終楽しそうにしていたのが大変印象に残っています。

この春に南大阪から徳島にやってきた私には、徳島県民の祭りにかける情熱は、有名な岸和田のだんじり祭りに命をかける泉州人に通じるものがあると感じました。ワクワク感や、祭りに抱いている熱気がとても高いですね。



第5回日本語スピーチコンテスト・徳島県日本語弁論大会 The 5th Japanese Speech Contest & 2025 Tokushima Speech Contest

三原 敦子
Mihara Atsuko

7月13日に山川公民館で、第5回吉野川市日本語スピーチコンテストを開催しました。発表者を含め52名が参加しました。最初に「ベトナムの愉快的仲間たち」がショートスピーチと踊りを披露し、その後5名がスピーチを行いました。ブラディーブさん(ネパール)は、仕事現場で「放して」と「話して」を勘違いしてしまったこと、エルウィンさん(インドネシア)は高齢者が話す阿波弁がわからず困ったこと、ソンさん(ベトナム)は、仕事もするけど恋愛もしたいという思いをそれぞれ語りました。王さん(中国)は、縫製で200着も失敗した時、仲間が助けてくれてチームワークで乗り切ったエピソードを感謝の気持ちを込めて語りました。タルハさん(パキスタン)はコンビニでの失敗や運転免許の不合格体験などをとおして、心と心のつながりで世界は優しくなるという思いを伝えました。最後に阿波日本語教室の藤本さんが講評をしました。このような日本語スピーチコンテストを続けていけたらと思っています。

7月20日
徳島県日本語弁論大会があわぎんホールで開催され、YIAの日本



語教室からはタリク・タルハさん(パキスタン)、王桂芳さん(中国)の2名が出場しました。全体の出場者は14名で、その内10名が留学生でした。タルハさんは「間違いから生まれる、希望のちから」と題して、家族で来日してから多くの失敗を経験し、日本人の支援を受けながら様々なことに挑戦することで希望が開けてきたと発表。王さんは「日本で働いた3年間、挑戦、成長、そして感謝」と題して、縫製会社の仕事で感じた中国と日本での仕事の仕方の違い、失敗の体験を通じて成長したことや仲間への感謝の気持ちを話しました。結果は、二人とも努力賞でした。タルハさんは、今後の努力が期待されていると前向きに受け止め、また王さんは、よい思い出になったとのこと。留学生が多数出場する中で、皆さんは毎日仕事をしながらスピーチ原稿の作成や練習に励むその姿に本当に感動しました。



浴衣・着物着付け体験

Experiencing Yukata & Kimono

安部 正美
Abe Masami

10月5日に浴衣・着物着付け体験を実施しました。今回も、小川和美さん、渡部真弓さんのご厚意により、打掛・羽織袴・ウェディングドレス・チャイナドレスとたくさんのご衣装をご用意して下さいました。浴衣、着物を着た人35名、着付け指導、国際交流協会関係者他13名の参加がありました。YIAで用意した浴衣は19着でしたが、YIA理事たちも自分の浴衣、着物を持参し、ほぼ全員に着ていただくことができました。13時半に萩森副会長が用意した三角くじを参加者が引き、順番に自分の選んだ浴衣に着替え記



念撮影をしました。

アトラクションとして渡部真弓さんが袴姿で日舞を披露された後、受講生5人が舞扇子の扱い方に挑戦！渡部さんに舞扇子の開き方、回し方を教えていただきました。上手に使うことができた5人に瀬尾会長よりグッドパフォーマンス賞が授与されました。

その後は思い思いのポーズで写真撮影をされていました。受講生の皆さんにたいへん喜んでいただき、今回も大盛況でとても嬉しく思いました。参加者の皆さん関係者の皆さんありがとうございました。



グローバルセミナー Global Seminar

瀬尾 規子
Seo Noriko

YIAでは、ALT（英語指導助手）など在住外国人をゲストにお招きして、出身国の文化や社会、自然などを紹介していただくグローバルセミナーを開催しています。第7回では、つるぎ町ALTのマシュー・ジョンさんにイギリス・ノースヨークシャー州についてお話していただきました。ロンドンのセントポール・チャーチや遺跡のストーンヘンジ、スチームエンジンで動くタワーブリッジなどのお話をしていただきました。第8回では、三好市ALTのミエ・オカ・ランプリエールさんにご自身のルーツについてお話していただきました。アメリカ出身ですが、お名前からわかるように、曾祖母は徳島生まれで、アメリカ・メキシコ・

フランスを経て、日本に戻ってきました。第9回は、阿波市ALTのアティさんに、南アフリカについてお話していただきました。アティさんは「ドラゴンボール」など日本のアニメに関心があり、将来はゲームデザインの仕事に携わりたいそうです。雄大なテーブルマウンテンや野生動物を近くで見ることが出来るサファリなど、アフリカに行った気分になりました。世界を旅するグローバルセミナー！是非お越しください。



スペイン巡礼の道「カミーノ・マジック」 The Camino de Santiago: "Camino Magic"

新見 真理子
Niimi Mariko

「一人で巡礼していて心が折れなかった？」と聞かれる。大空を飛ぶ飛行機を見て「私を日本に連れて帰って！」「なんで私はこんなことをしているのだろう」と思ったことが何度もあった。

しかし、ホタテ貝をリュックに付けて巡礼をしていると「ブエン・カミーノ」と声を掛け合って世界中の人とすぐに友達になれる。アルベルゲで食事をしていても一緒に食べようと誘われたり、食べ物や食材を頂くことも多かった。そして、なぜか困った時に誰かが必ず現れて、助けをくれたりアドバイスをくれたりする。この「カミーノ・ファミリー」に出会うふれあいの旅が懐かしくて毎年巡礼の道を歩く人もいる。他の旅では体験できない心豊かになれる旅である。

巡礼の道もヒナゲシやエニシダの花が咲きほこっており、石造りの家を眺め、橋を渡りながら、いにしへの面影に思いを馳せながら歩くのは本当に幸せなひとときであった。スペイン巡礼の道には世界中の人の心を引き付ける「カミーノ・マジック」がある。

（国際理解講座として9月20日「スペイン巡礼の道を歩く」を開催しました。5月にフランスのサン・ジャン・ピエ・ド・ポーを出発し、難所ピレネー山脈を越え、スペインのサンティアゴ・デ・コンポステーラを目指して800km、約2か月かけて歩きました。参加者72名）



吉野川市のALTの紹介 Introduction of ALTs (Assistant Language Teacher)

瀬尾 規子
Seo Noriko

- ①勤務校 ②出身 ③専攻 ④趣味

Samantha Ross (サマンサさん)

- ① 鴨島小学校、西麻植小学校、飯尾敷地小学校
- ② デンバー(US コロラド州)
- ③ 人類学
- ④ 写真、料理



Robin E.Kelly (ロビンさん)

- ① 鴨島東中学校、森山小学校、牛島小学校
- ② ターボン・スプリング(US フロリダ州)
- ③ 世界言語と文化
- ④ 絵画、音楽鑑賞、写真



Alexandora Morris Danielle(アレックスさん)

- ① 川島中学校、川島小学校、学島小学校
- ② ジャクソンビル(US フロリダ州)
- ③ 中国語とスペイン語
- ④ 絵画、お菓子作り



Gbonda Mohamed Kamajor (ボンダさん)

- ① 山川中学校、山瀬小学校、高越小学校
- ② アッパー・マルボロ(US メリーランド州)
- ③ アニメーション
- ④ 絵画



事務局だより

2025年度吉野川市国際交流協会役員

会長 瀬尾規子
 副会長 萩森健治、田村 実
 三原敦子
 監事 乾喜美子、浅野充代
 会員数 56人・4団体（2026年1月現在）



専門部の活動

◎支援部（担当：萩森健治副会長）

- (1) 日本語教室の開催
- (2) 日本語サロンの開催
- (3) 学校での日本語学習支援
- (4) 市内滞在あるいは訪問外国人への通訳支援
- (5) 各種講習会への参加



◎交流部（担当：田村実副会長）

- (1) 国際理解講座の開催
- (2) 地域国際交流の支援
- (3) 在住外国人との交流事業
- (4) ホームステイ・ホームビジットの受入れ
- (5) 阿波踊りへの参加
- (6) 国際交流バスツアー
- (7) 日本文化を紹介する講座
- (8) 外国人お遍路ガイド講座



◎広報部（担当：瀬尾規子会長）

- (1) 「国際交流よしのがわ」第22号の発行
- (2) YIA会員だよりの発行
- (3) YIAホームページ

◎会計（担当：三原敦子副会長）

- (1) 会計の管理
- (2) 会計（会計・補助金）



日本語教室ボランティアスタッフ募集

毎週日曜日の日本語教室にボランティアとしてお手伝いをしていただける方を募集しています。見学も大歓迎です。日本語で異文化交流をしませんか？

会員募集

吉野川国際交流協会では、新しく会員になってくださる方々をお待ちしています。外国語が話せなくても興味のある方はどなたでも随時入会できます。事務局にお気軽にお尋ねください。

年会費：個人 2,000円、団体 5,000円（入会時）
 事務局：吉野川市教育委員会生涯学習課

TEL (0883) 22-2271 FAX (0883) 22-2270

e-mail: s-gakushuu@yoshinogawa.i-tokushima.jp



2025年度の主な活動

[2025年]

- 4月 ・日本語教室花見（4/6 山川・平田さん宅）
 （4/6 鴨島・いまの桜）
 ・第7回グローバルセミナー（4/26 文化研修センター）
 ・ベトナム交流会・スピーチコンテスト（4/27 四国大学交流プラザ）
- 5月 ・YIA総会（5/17 文化研修センター）
 ・記念講演会：「藍のふるさと阿波」大島祥人さん
 ・日本語教室バラ園見学（5/25 山川・高田さん宅）
 ・お遍路ツアー（5/29 焼山寺・立江寺・鶴林寺）
- 6月 ・俳句書道ワークショップ（6/22 文化研修センター）
 ・第8回グローバルセミナー（6/28 文化研修センター）
- 7月 ・吉野川市日本語スピーチコンテスト（7/13 山川公民館）
 ・徳島県日本語弁論大会に日本語教室受講生2名出場（7/20 あわぎんホール）
- 8月 ・国際交流クッキング「そば打ち体験」（8/3 川島公民館）
 ・阿波踊り（8/16 鴨島駅前中央通り）
- 9月 ・国際理解講座「スペイン巡礼の道を歩く」（9/20 文化研修センター）
 ・国際理解講座「在住外国人の動向と多文化共生」について（9/27 文化研修センター）
 ・お遍路お接待（9/25 藤井寺）
- 10月 ・浴衣・着物着付け体験会（10/5 文化研修センター）
 ・四国大学との交流講座（10/19 文化研修センター）
- 11月 ・映画「道草キッチン」PRイベント「道草マルシェ」（11/16 鴨島駅前イベント広場）
 ・バスツアー（11/23 神戸方面）
 ・第9回グローバルセミナー（11/29 文化研修センター）
 ・お遍路お接待（11/3 藤井寺）
- 12月 ・俳句書道展示会（12/20～12/21 文学書道館）
- [2026年]
- 1月 ・お遍路ツアー（1/12 大窪寺、前山お遍路交流サロン）
 ・もちつき大会（1/18 西麻植青年会館）
 ・新年会（1/24 昌郎）
- 2月 ・第10回グローバルセミナー（2/28 文化研修センター）
- 3月 ・多文化共生講演会（3/8 鴨島公民館）
 ・機関誌「国際交流よしのがわ」第22号発行

◎定例理事会 毎月末に計12回開催

◎日本語教室（毎週日曜日、鴨島：午後、山川：午前）

◎外国人お遍路ガイド講座（第1月曜日、第4土曜日）



ベトナム交流会
 （山川日本語教室の演舞披露）

◆ 編集後記 ◆

徳島新聞で「多文化共生」の連載記事が掲載されました。わかりやすく言えば、同じ時代を生きる地球人として、お互いの文化を理解し、認め合って、ともに助け合って生きる社会のことです。日本語でおしゃべりし、笑顔がいっぱいの社会をめざしたいと思います。（瀬尾規子）